



まことさつなえ保育園

- ・心の健康
- ・平和は子どもから始まる
- ・オリンピック、パラリンピックの意味を知る
- ・毎日の生活で、子ども同士が楽しい気持ち、悲しい気持ち、悔しい気持ち・・・いろいろな気持ちの変化を通し、喧嘩をしながら相手を想う気持ちや葛藤など、心を育てていく過程をしっかりと受け止め、サポートしていく
- ・多様性を認める
- ・個を尊重する
- ・世の中のニュースに目を向け、子どもと考える
- ・子どもの心の安定を大切にする
- ・信頼できる大人がいる事を日々伝え暖かく受け入れる

- ・園を取り巻く地域社会が良い方向へと向かう事で、海外にも目を向け、国際社会への貢献へと繋げていけるよう心がける
- ・世の中のニュースに目を向け、子どもと一緒に考える
- ・パートナーシップで目標達成の輪を広げていく
- ・グローバルパートナーシップの活性化
- ・自らが出来ることを考える
- ・ボランティア活動等、社会の取り組みに目を向ける

- ・保護者の就労支援
- ・安全で過ごしやすい施設
- ・保護者に寄り添う
- ・他者への思いやりの気持ちを育む

- ・日本の食生活を知る
- ・地産地消を使用する
- ・食事は残さず食べる
- ・食への感謝の気持ち
- ・和食について知る
- ・食の楽しさ大切さ
- ・残食チェック
- ・残さず食べる工夫
- ・バランスの良い食事
- ・園庭での栽培活動

- ・近隣住人への挨拶
- ・地域の交流
- ・早寝早起き朝ごはんの習慣付け
- ・毎日の外遊び
- ・手洗いうがいなどの予防の習慣付け
- ・基本的生活習慣
- ・健康について考える

- ・毎日の月刊絵本の取り組み（園と家庭）
- ・本物に触れる体験
- ・子どもの成長の芽を摘み取らない
- ・絵本が生活の一部になるように（家庭でも）
- ・ワークショップを通して専門的知識を持った大人と触れ合い、本物に触れる
- ・日本の文化を知り、体験する（餅つきや茶道・華道・・・）
- ・色々な物のツールを知る
- ・地域の専門家の話や、交流（さとらんの飼育員さんや近所のお寺さん、等・・・）

- ・花や木を植える
- ・毎日の戸外活動から自然の大切さを学ぶ
- ・山に関連する木や動物、昆虫などの本をいつでも調べられるよう準備しておく
- ・紙の無駄使いはしない
- ・再生可能な物はリサイクルする
- ・生物の多様性を知る

- ・水の大切さを知る
- ・水に関連する海や魚、川などの本をいつでも調べられるよう準備しておく
- ・繰り返し使える資源を使う
- ・毎日の生活の中で自然に目にする水や川に興味を持つように
- ・生物の多様性に関心を持つ

- ・毎日の戸外活動から自然の大切さを学ぶ
- ・観葉植物や花を飾り、自然に親しめるよう環境を整える
- ・緑がある生活
- ・花がある生活
- ・お散歩で摘んだ花などを部屋に飾る
- ・美しいと感じる心や栽培を通した心の豊かさを経験する
- ・人類と地球の未来のためにできることを考える
- ・地球温暖化、低酸素社会について取り上げ、地球にやさしいライフスタイルの実践を呼びかける

- ・食事を残さず食べる
- ・園庭での菜園活動
- ・物を大切に使う
- ・リサイクル可能な物の使用
- ・廃材の使用
- ・園で必要な物等を廃材を使用し作る事での楽しさ
- ・物の大切さ
- ・食の大切さ
- ・紙等無駄のない使用方法

- ・地域との交流
- ・防災対策や訓練
- ・災害時に置いての支援活動の準備
- ・園内の環境保持
- ・子ども自らが整理整頓、清掃を心掛ける
- ・住みやすい街について考える
- ・地域のゴミ拾い
- ・春夏秋冬を通し、地域の方へ目で見えて美しいと感じる環境作りを心掛ける（花壇やキャンドル・・・）

- ・多様性を尊重する
- ・子どもの人権を守る
- ・年齢や性別、障がい、人種などの差別的考えは無くす
- ・肌の色や目の色にはこだわらない
- ・人に対する平等な考え
- ・世界の食や祭り、行事などを知る
- ・異文化に触れる体験

- ・働き方に合わせた勤務内容
- ・子ども同様、自分自身が楽しく充実した毎日へ
- ・自己実現が叶う職場
- ・社会貢献に繋げる

- ・本物に触れる体験（遊び=学び）
- ・探究心を大切に
- ・最後まで自分で考え、やり遂げる力
- ・子どものアイデアを実現する
- ・発想力を大切に
- ・やりたいことが実現できる保育環境作り

- ・ゴミの分別(子どもが目で見分けるように)
- ・電気、エアコン、暖房の調節
- ・自然の心地よさを大切に
- ・公園使用後のゴミ拾い
- ・地域のゴミ拾い
- ・遊びを通した活動
- ・エネルギーについて知る

- ・水の役割、大切さについて知る
- ・手洗い時やトイレの水の調節（子どもが目で見分けるように環境を整える）

- ・男女の区別や呼び方をしない
- ・年齢や性別、障がい、人種などの差別的考えは無くす
- ・男女の違いは体の仕組み
- ・個を認める
- ・多様性を尊重する
- ・自分の思いを伝えられる環境作り

